

# 令和元年第 18 回沖縄県教育委員会会議（定例会）議事録

## 1 開会及び閉会に関する事項

令和元年 12 月 26 日 午後 3 時開会  
午後 4 時 20 分閉会

## 2 出席者及び欠席委員の氏名

### (1) 出席者

教育長 平敷 昭人                      委 員 玉城 きみ子                      委 員 松本 廣嗣  
委 員 照屋 尚子                      委 員 上原 勝晴

### (2) 欠席委員

委 員 山里 清

## 3 説明のため会議に出席した職員の職氏名

|               |        |             |       |
|---------------|--------|-------------|-------|
| 教育指導統括監       | 半嶺 満   | 参 事         | 當間 正和 |
| 総務課長          | 佐次田 薫  | 教育支援課長      | 横田 昭彦 |
| 施設課長          | 賀数 朝正  | 学校人事課長      | 屋亘 宣秀 |
| 県立学校教育課長      | 玉城 学   | 義務教育課長      | 宇江城 詮 |
| 保健体育課長        | 太田 守克  | 生涯学習振興課副参事  | 伊集 涼子 |
| 文化財課管理班長      | 横山 さゆり | 総務課総務班長     | 大城 勇人 |
| 県立学校教育課主任指導主事 | 新垣 ゆかり | 保健体育課主任指導主事 | 古賀 義之 |

## 4 議事関係

### (1) 開会

平敷教育長が開会を宣告した。

### (2) 非公開の決定及び議事日程の決定

議案第 1 号及び第 2 号は人事に関する案件であることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 14 条第 7 項の規定により非公開とすることが全会一致で決定された。また、議事日程は会議資料記載の日程案のとすることが決定された。

### (3) 令和元年第 17 回議事録の承認

全会一致で、令和元年第 17 回議事録を承認した。

### (4) 議事録署名人の指名

平敷教育長が、照屋委員を議事録署名人に指名した。

### (5) 教育長職務代理者の指名

「沖縄県教育委員会会議規則」第 2 条の規定により、平敷教育長は、玉城委員に替えて、松

本委員を教育長職務代理者に指名し、松本委員がこれを受諾した。

松本委員は、教育長職務代理者の事務を行う際には「沖縄県教育委員会会議規則」及び「沖縄県教育委員会会議傍聴人規則」の規定による教育長の権限に属する事務を除く事務について、教育管理統括監に専決権限を付与することを宣言した。

(6) 報告事項

報告事項1 沖縄県教育委員会訓令の一部改正（沖縄県教育委員会の所管に属する非常勤職員の給与、勤務条件等に関する規程の一部を改正する訓令）

【説明（総務課長）】

資料に基づき、沖縄県教育委員会訓令の一部改正（沖縄県教育委員会の所管に属する非常勤職員の給与、勤務条件等に関する規程の一部を改正する訓令）について報告を行った。

【質疑等】

なし

報告事項2 沖縄県教育委員会訓令の一部改正（教育庁等文書管理規程の一部を改正する訓令）

【説明（総務課長）】

資料に基づき、沖縄県教育委員会訓令の一部改正（教育庁等文書管理規程の一部を改正する訓令）について報告を行った。

【質疑等】

○松本委員 県民に公開するということですね。恐らく問い合わせが非常に多くなると思いますが、その際に帳簿上はそこにあることになっているが、ファイルが実際は無かったなどの問題が出てくると思っています。そこで、図書館的な管理をきちんとしていかなければいけないと思います。私は病院の中でそういう事が頻繁におきていました。カルテがデータ上はあることになっているのに、本来ある場所に無い。そういうこともあるので、このシステムは非常によいと思うのですが、物の管理をする際はそれがきちんと管理されるのか確認しておきたいです。

○総務課長 今回の訓令改正ですが、作業自体は昨年度から各課において文書管理ファイルで行っています。文書ファイル等管理簿の作成ということで、システムに打ち込むことによって管理簿が出てきます。管理簿があるものについては間違いなく文書はあるということで整理をしているところです。

○玉城委員 教育庁より他の部署ではすでに始まっているのですね。他の部署の県民の開示請求などの様子はどうなっていますか。

○総務課長 実際は始めるということでしたが、ファイルの検索がまだ使えない状況です。

これに基づいての開示請求があったかどうかはわかりません。

○大城総務班長 今、システム業者が補修をかけている途中でございまして、12月7日から始まる予定でしたが、補修作業が入っているためまだ公開出来ていない状態です。システム上の不具合があるらしく直している状況ですので、実績が教育委員会ではないです。

○玉城委員 何日から開示というのはまだですか。

○大城総務班長 出来次第開示ということです。修正次第開示というかたちになります。

○玉城委員 わかりました。

○上原委員 こういうシステムが出来て調べ易くなるというのは非常に良いことだと思います。今までの文書の開示請求の仕方と、もし違うところがあれば、教えて頂きたい。

○総務課長 見やすくなる点は変わりますが、文書開示請求自体が変わるということはないと思います。

○上原委員 手続きも一緒に、これまでと同じように所定の手続きをとってやるのですね。

○総務課長 そうです。

○上原委員 わかりました。

○松本委員 先ほど県民に開示と言われましたが、ホームページからアプローチできるから国民に開示ですよ。日本全国どこからも請求することが可能になるということですね。

○総務課長 はい、おっしゃるとおりです。

### 報告事項3 沖縄県教育委員会訓令の一部改正（教育職員免許状に関する規則）

#### 【説明（学校人事課長）】

資料に基づき、沖縄県教育委員会訓令の一部改正（教育職員免許状に関する規則）について報告を行った。

#### 【質疑等】

なし

### 報告事項4 令和2年度特別支援学校高等部入学定員

#### 【説明（県立学校教育課長）】

資料に基づき、令和2年度特別支援学校高等部入学定員について報告を行った。

【質疑等】

- 照屋委員 資料 20 ページの前年度比較の表で、課長の説明にありましたように美咲特別支援学校とはなさき分校は多めに定員をとっているということですが、学級数が増えていますよね。教室が足りなくなるのかどうか気になっております。
- 県立学校教育課長 過密解消に向けて取り組まないといけない状況ではありますが、施設については今のところどうにか足りています。
- 教育長 空いている箇所があったということですか。
- 県立学校教育課新垣主任指導主事 いえ。ぎりぎりが出ていく子どもと相殺で何とかいられています。今回美咲特別支援学校は校舎を増築している部分もあります。
- 照屋委員 もう一点よろしいですか。肢体不自由の特別支援学校で、大学に進学する生徒がいるクラスがありますが、例えば、1クラス定員は8名ですが、その方は1クラス1名で授業をやっているのでしょうか。
- 教育長 いわゆる習熟度はどうなっているのかということですか。
- 照屋委員 習熟度別です。大学に進学するような生徒も入ってきますよね。その場合、クラスは1学級1名でも分けて授業を行っているのですか。
- 県立学校教育課新垣主任指導主事 はい、そうです。
- 玉城委員 様々な配慮をされて入学定員を決められていますね。2校受験しても、その後も自分の居場所があるというのは素晴らしいと思います。八重山特別支援学校は2学級増で16名増になりますが、宮古と八重山はそれほど変わらない人口だと思います。八重山が2学級増えたことについて、その辺をもう少し詳しく説明して頂けますか。
- 県立学校教育課長 志願前相談が17名、1名オーバーしております。1学級8名ですので16名でちょうど2学級です。
- 玉城委員 一人の増加の為にそうなったということですか。
- 県立学校教育課長 はい、そうです。
- 玉城委員 これを見ると16名も増えたのかと思いましたが、そうではなく一人増えた為にとのことですね。
- 教育長 定員上ひとクラス増えたということですか。
- 県立学校教育課長 はい、17名きていますので、8で割ると3クラス必要になります。
- 玉城委員 そこをよく理解していませんでしたが、よくわかりました。ありがとうございました。

報告事項5 「令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果報告

【説明（保健体育課長）】

資料に基づき、「令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果報告について報告を行った。

【質疑等】

- 松本委員 運動習慣ではないので調べているかわかりませんが、この調査の中でスクリーンタイムあるいはゲームをする時間を同時に調べていませんか。
- 保健体育課長 それは今、調べられています。スクリーンタイムが昨年よりも大きく増加したという数値をみて、全国も含めて増えたのと同時に運動のゼロも増えました。そして肥満傾向児も同時に増えました。沖縄県でも同じ傾向です。
- 松本委員 この調査で調べたのですか。
- 保健体育課長 そうです。
- 玉城委員 2点質問させてください。今も説明にありましたように、体育の授業以外で運動時間がゼロということで全国の中で非常に高いと伺いました。日常的に体を動かす・歩くということを日々の生活の中に取り入れて習慣化していくためには、これまでも進めてきた一校一運動が非常に重要だと思います。沖縄県では、この一校一運動がどのような形で進められているのか、現状を少し教えて頂きたいです。もう一点は、肥満率が高いことから本県が進めている「家族で挑戦！がんじゅうアップチャレンジ330」運動について、これは夏休みや冬休みの長期の休みで行われているものですが、日常的に行うためには自治会とか公民館などの地域の中で連携して取り組むことで実行性のある取り組みになっていかないと感じています。その辺についてのお考えを伺いたいと思います。
- 保健体育課古賀主任指導主事 一校一運動につきましては毎年調査をしております、小学校ではほぼ95%が縄跳びやマラソンなど何かしら各学校での取り組みはされています。中学校でも8割以上は取り組んでいると回答がありますが、年間を通してではなく、今はスポットごとにやられていて、冬のマラソンとか全国縄跳び大会などあります。年間を通して何か運動に親しむ一校一運動につきましては、これから進めていきたいと考えています。
- 玉城委員 がんじゅうアップチャレンジ330運動ですが、長期休みだけではなく日常的な土日などに取り組んでいくようなシステムというのを、地域の中の自治会とか公民館と連携していくことで実行性のある取り組みとして長続きするので、そういったことはありますか。
- 保健体育課古賀主任指導主事 先日、第3回体力向上推進委員会が行われまして、その

中でも委員の皆さんから一校一運動に例を挙げると同時に、PTA 会長もいらっしゃいましたので各学校で連携が持てるような周知の仕方がないかとお話があり、これから検討していく課題だと思っています。地域によっては、引退された老人会の方が学校地域で一番動きやすいという意見も出ました。朝にラジオ体操を行っている地域もあるようです。そういうのを含めて検討していこうと思います。

○玉城委員 そうすることで肥満だけではなく長寿県としての復活につながっていくのかと考えます。

○照屋委員 地域家庭と連携した取り組みということで関連します。那覇市のある公民館では健康講座を開催し、楽しくウォーキングをしよう子どもから高齢者まで参加できるような講座をしたり、防災キャンプということで地域の防災の取り組みの中で防災散歩というアクティビティな計画をしている地域があります。そういった好事例もありますので、生涯学習振興課とぜひ連携して、地域でも取り組めるようなものを発信してほしいです。少しずれるかもしれませんが、楽しく運動出来るということについてです。今、運動している子と全然やらない子で二極化していると思います。東京都へ視察に行った時に、東京都立の高校では全校あげて特別支援学校とスポーツ交流していて、フライングディスクやボッチャ、ゴールボール、シッティングバレーボール、卓球バレーボールなど、障害が有っても無くても楽しめるスポーツを通して、交流を図っているという事例を伺いました。ぜひ沖縄でも、誰でも出来るようなスポーツが広まっていけばいいなと期待しています。あとは、私たちが小さい時は公園や地域で走り回ったり、山に登ったりなど粗大運動を沢山してきたと思いますが、今の公園では色々な禁止事項が多く、なかなか地域の公園で思いっきり遊ぶことが出来ません。幼児教育班でも出来ることですし、幼児教育の中で粗大運動をしっかり行っていくように指導・助言出来たらと思いますので、よろしくをお願いします。

○保健体育課長 地域とのつながりということで、生涯学習振興課で作成しています「親子ふれあい体操」「食べて動いてよく寝よう」といった資料等を活用しながら、生活習慣も絡めながら体力向上に取り組んでいかなければならないです。あとCGG運動、クリーン活動の部分で、それ自体はスポーツ活動とは言えませんが、身体活動ということで市町村教育委員会と連携していきます。または先ほどの那覇市の健康講座などのように、いろいろな形で子どもたちが動けるような環境づくりを多方面の方々と連携しながら進めていければと思います。先ほどの特別支援学校とのスポーツ等の交流も含めて、子どもたちが活動的な場面に触れることが出来るような部分をいろいろな形でできればと考えます。よろしくをお願いします。

○照屋委員 よろしくをお願いします。

○上原委員 今までの委員の話と関連してくると思いますが、特に 22 ページの『今後の取り組み』が極めて大事だろうと思います。今いくつかの取り組みや実践の紹介があり、この取り組みというのは、学校教育の取り組みだけでは十分ではないというのが、誰が

見てもはっきりとしています。特に本県の健康づくり、食生活の問題は大人の問題と理解されますので、教育委員会の全庁体制はもとより、知事部局含めた行政全体として、この問題については取り組んでいると思います。しっかりと横の連携も再度構築しながら、絶えず情報交換をしていくことが必要だと思います。がんじゅう体操などいろいろテレビのニュースやコマーシャルでも流れていますので、県全体あげて取り組んでいく課題だと感じています。もう一点は、教員の働き方改革などいろいろ実践されていると思います。どんどん課題が増えてきて、主に学校の取り組み事項だと思いますが、それぞれの家庭・地域がそれぞれで出来ることや役割をしっかりと理解して頂いて、みんなで取り組んで行く形を取っていく。特に市町村の行政や教員委員会としっかりと連携をしていくことが極めて重要です。これについては長期的な戦略や実践も必要だと思いますので、粘り強く行っていくことが大事だと思います。将来の沖縄県を作っていく子どもたちですので、連携を取りながらみんなで取り組んで行けたらと思います。

- 保健体育課長 教育委員会以外の部局においては、大人の体力向上・運動ということで、生涯スポーツを担当しておりますスポーツ振興課でも、市町村と連携を取りながら進めているところです。大人も当然運動しなければいけないという事で、お子さんと一緒に動いていくプログラムなども行っていく必要があると感じています。それも含めて進めさせていただきます。
- 松本委員 全国の小学5年生も中学生も体力が落ちてきている中で、沖縄はどちらかと言うと右肩上がりに近いと思いますが、この要因はしっかりと分析する必要があると思います。この流れをさらに示してあげるような取り組みが重要ではないかと思います。私は最近、沖縄の中学生、高校生の女の子を見てみると、本当に沖縄の子なのかと思うくらい色が白いです。どうして色白になったのか、化粧品で白くなっただけではないと思います。こんな気象ですので、恐らく戸外で日に当たる活動時間が短くなったのではないかと思います。いろいろな大会などもあって、また特定のグループが使うことで他の人が入れない理由なども結構あると思いますが、室内でも頑張って運動出来るような、日常的に使えるような機会を増やしていかなければいけないと思います。色白になったことと右肩あがりになったのはどうしてか私には説明できないのですが、何か特別な状況があるのでしょうか。
- 保健体育課長 その答えは持ち合わせておりませんが、意識が高くなっているのか、ケアしているのか。
- 教育長 それにしても特異な動きですよね。中2女子は22年もすごい上がっている。
- 保健体育課古賀主任指導主事 22年の年だけ半数調査でした。抽出された学校が特別よかったのかという気がしますが、はっきりはわかりません。悉皆調査では無かったというのはひとつの理由になるのかなと。
- 玉城委員 悉皆調査はいつからですか。

○保健体育課長 21 ページの調査の目的の右下に書かれてあります。20 年度から悉皆調査を進めさせて頂いておりますが、20 年度・21 年度は悉皆調査、22 年度だけは一旦 20% になって、23 年度は未実施、24 年度から現在までは悉皆調査という状況です。

○上原委員 これは小中学校の調査の結果に基づいた取り組みだと理解しています。幼児期の問題、高等学校のデータが見えませんのでわかりませんが、幼児期から高等学校を見据えていく形になると具体的な取り組みも変わる可能性がありますよね。これについてのデータはありますか。

○保健体育課長 実際は全国の悉皆調査に併せて小学校 5 年生と中学校 2 年生は行っています。それ以外の子たちも県内の調査で、小学校 1 年生から高校 3 年生までのすべての学年についてデータは持っています。その子たちも自分の個人データはバックしていきますので、継続でどうなっているのかの状況は把握出来る形にはなっています。今回は用意していません。

○上原委員 これは全国的なデータの結果だと思いますので、やはり対策を練るときには違ったデータもあつたら総合的な対策が出来ると思います。

#### (7) 議案審議

議案第 1 号 学校職員の人事について (非公開)

議案第 2 号 学校職員の人事について (非公開)

#### (8) その他

##### 【玉城委員退任挨拶】

一言お礼の言葉を述べさせていただきます。この 4 年間、本当に微力ではありましたが、どうか皆様のおかげで教育委員の任期を終えることができました。本当にありがとうございます。教育長をはじめ、教育委員の皆様、そして事務局の皆様、関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。教育委員の任期 4 年の間、数多くの方々との出会い、貴重な経験や体験を沢山させていただきました。本当に学びの多い充実した 4 年間だったと思っております。今日はその中から、2 つだけ紹介させていただいて、お礼の言葉に代えさせていただきますと思います。

まず一つは、改めて学び続けることの大切さを身にしみて感じました。私は長年、学校現場で教育に携わる仕事をして参りましたが、教育委員会に来て、こんなにも教育について知らないことが多いのかということに気づかされました。特に、教育大綱や沖縄県教育振興基本計画の作成に関わる経験、毎年行われています点検・評価や総合教育会議において、これは教育委員だからこそできた経験であり、それだけに大変ありがたいと思うと同時に、自分の未熟さを感じた場でもありました。それから、毎月行われている定例会・勉強会におきましても、事務局の皆様の丁寧なご説明のもと、本当に真摯に本県の教育に向き合い、自分の思いや考えを自分の言葉でどう発信すればよいかということを考える貴重な機会になりました。でも、帰りの車はいつも反省ばかりでした。振り返ってみれば、ど



れもこれも私にとりましては、多くの資料や著書、そして沢山の皆様のご意見を伺い、学び続けなければ、乗り越えることができなかつたなという思いです。ある講演会で伺った話なのですが、『昔は、大人になればずっと大人でおられたが、現在は、大人になって多くの経験を積み、そして学び続けなければ、次世代の子供にも劣る世の中になっている』ということを目にしたとき、本当にそうだなと納得いたしました。これからも、学び続けること、そして発信することを大切にしていきたいと思っております。

2点目です。ごく当たり前のことでありますが、学校と地域が一体となって社会全体で子供を育てることの大切さを痛感いたしました。県内の視察で出会った子供たち、そして学校現場での学校長の学校経営を伺いながら、やはり学校を核とした地域づくり、または地域ぐるみ、島ぐるみで育てられている子供たちは、学力面のみならず心も体も健やかに成長しているということを実感しました。また、高校総体、高文祭、そして産業フェア、特別支援の就労体験などで、高校生が活躍し、輝いているその姿の裏には、行政、学校、保護者、地域、企業の連携の強化があることを目の当たりにしてきました。先進校視察においても、コミュニティースクールや中高一貫・小中一貫で地域と学校の連携のあり方を学ばせていただきました。今後はそれを、地域で私自身が生かすことができたらいいなと考えております。来年から新学習指導要領が小学校から順次、完全実施になりますが、学校と地域が一体となった活動が進んでいくところがますます多くなると思います。私も「地域の子は地域で育てる」をしっかり念頭に置いて、子供たちのためのボランティア活動に励んでいきたいと思っております。

結びになりますが、私は学校視察等を通して本県の教育行政、学校の管理職及び教職員は本当に優秀な方々が多いということでも心強くなったし、本県の教育に大きな期待が持てると思っております。本県の幼児児童生徒の健やかな成長と、本県の教育のますますの発展を祈念いたしますとともに、皆様のご健勝をお祈りして、簡単ではありましたがお礼の言葉に代えさせていただきます。本当にお世話になりました。ありがとうございます。

#### 【平敷教育長挨拶】

玉城委員、4年間本当にありがとうございました。元小学校の校長先生という経験があり、大学でもそのような立場で、専門的な見地からいろいろなご意見・ご提言を頂戴いたしました。学び続ける大切さ、学校と地域が一体となって子供達を育てるという大切さについて発言されておりました。例えばコミュニティースクールの話、校長先生のマネジメント、学校のマネジメントということもお話されておりました。また、独自にいろいろな地域へ行かれて、いろいろな資料を提供いただきました。我々がそれをきちんと受け取り消化できたかというところ、今も引き続きやっているところがございますが、本当に何かと貴重なご意見やご提言をいただき心から感謝申し上げたいと思っております。またこれからも、ぜひ機会があれば、様々な場でご意見をいただければありがたいなと思っておりますので、これからもご指導よろしくお願いしたいと思います。ありがとうございました。

#### (9) 閉会

平敷教育長が閉会を宣言した。